

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	サーベル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：サーベル

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：インパルス・ソリッド

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

箱出し状態

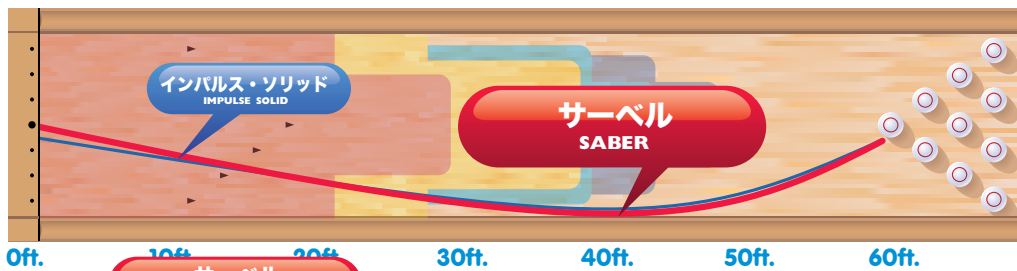
加工

ペーパー

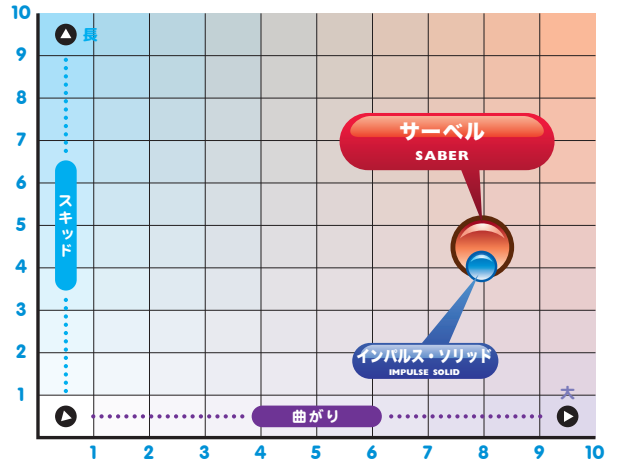
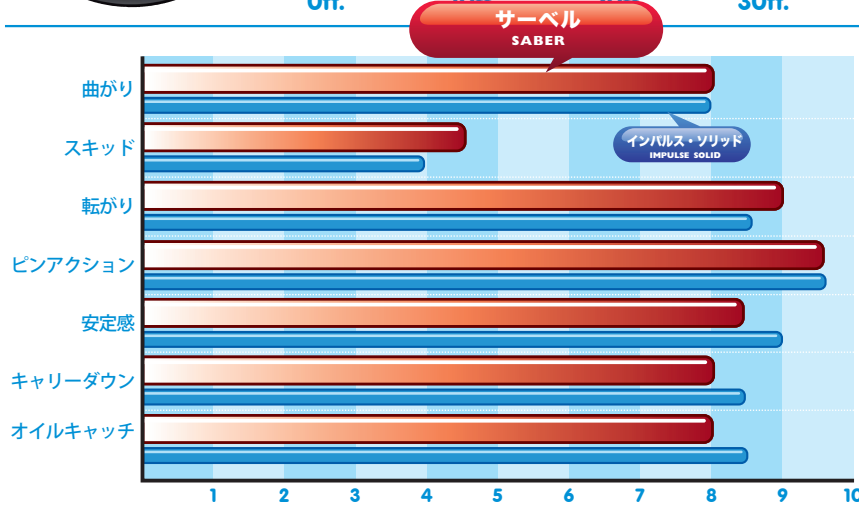
ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

COLUMBIA社の進化は止まらず、HP(High Performance)領域だけに使用されていたボールに衝撃を吸収させ、ピンアクションを向上させるHypershock TechnologyはUMP(Upper Mid Performance)までに使用されることになり、現在のIMPULSEが発売されました。またCOLUMBIA社で最高値を示す"TYRANT"のREFLEX SOLID CoverStockもUMPのORANGE LINEになりました。今回発売される"SABER"は、New Core TechnologyでREFREX SOLID、Hypershock TechnologyというIMPULSE SOLIDとはまた違った性能を示すボールに仕上がりました。

テストングの第一印象はUMP領域ではなかなか見られないオイルに対しての強さが突出している部分でしょう。特に手前の厚いオイルに対しても十二分に対応できる部分はORANGE LINEとは思えないほどで、IMPULSE SOLIDでは曲がり始めから曲がり終わりまで持続的に感じた曲がり、SABERはその曲がり方にピンヒット前の入射角が加わった感じというか、明らかに同じ領域でもIMPULSE SOLIDとすみ分けを施し、オイルに対しての強さを出しながら性能の差をだしている意図が伺えます。私の場合はHookからRoll期でボールを安定させたい場合はIMPULSE SOLIDを使い、その領域でしっかりとポケットへ深く入れたい場合はSABERを使うと思います。

ここ最近のCOLUMBIA社のボールはSOLID素材でもキャッチとBackendの動きが連動し、入射角が明確なボールが増えています。その動きとHypershock Technologyとのマッチングは1ピンでも多くピンを倒したい、ボウラーの問いに答えるものだと思います。

特記事項

将来的にCOLUMBIA社のボールはすべてHypershock Technologyを搭載することになるかもしれません。COLUMBIA=ピンアクションが良いという図式を目指して。